

LANTRONIX 社 小型デバイスサーバー(UBox2100) と、
富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380) と、
PC サーバ PRIMERGY(プライマジー) TX300 S4 の
接続検証結果報告書

株式会社 昌新
技術部

1. 作業実施概要

LANTRONIX 社の USB2.0 対応 小型デバイスサーバー(UBox2100) と、富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380) と、PC サーバ PRIMERGY(プライマジー)TX300 S4 との 接続・動作確認を実施致しました。

2. 被検証装置

品名	型名	記事
富士通 PC サーバ PRIMERGY	TX300 S4	WindowsServer2003R2 StandardEdition SP2 対応
USB2.0 対応 小型デバイスサーバー UBox2100	UB2100002-01	RoHS 対応 ドライバー v2.5
富士通製 USB プリンタ Printia LASER XL-9380	XL-9380	RoHS 対応 ドライバー v22.02



富士通製PCサーバ
PRIMERGY TX 300 S4



USB2.0 対応
小型デバイスサーバー
UBox2100



富士通製 USB プリンタ
Printia LASER XL-9380

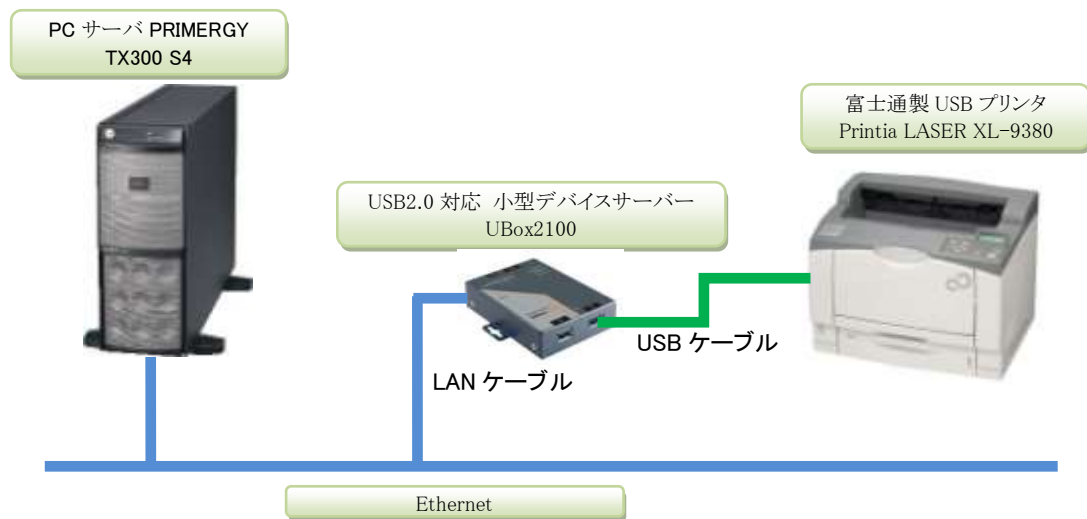
3. 作業期間

2009年4月22日

4. 作業場所

Platform Solution Center 30F Server Room 30-1

5. 実施システム構成(概要)



- (1) USB2.0 対応 小型デバイスサーバー(UBox2100)
- (2) 富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380)
- (3) PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 (WindowsServer2003R2 StandardEdition SP2 対応)

6. 検証項目

- PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 搭載 OS である WindowsServer2003 から、USB2.0 対応 小型デバイスサーバー UBox2100 経由で接続された USB デバイスである富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380) への印刷制御ができる事。

7. 接続手順

7-1. 電源 OFF の確認

接続する全機器の電源 OFF を確認します。

7-2. PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 起動

PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 を LAN ケーブルでネットワークに接続します。

その後、PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 の電源を ON し、Windows Server 2003 を起動します。

7-3. UBox2100の接続

RJ45イーサネットケーブルを UBox2100 に挿し、UBox2100 をネットワークに接続します。

AC アダプターを UBox2100 に接続し、AC アダプターを AC100V のコンセントに挿し、UBox2100 の電源 ON を行います。



ネットワーク接続

電源供給 +5VDC

7-4. UBox デバイスサーバー ソフトウェアのインストール


UBox2100 を監視制御する為の “Lantronix UBox USB Device Server” を UBox2100 に付属する CD-ROM からインストールします。CD-ROM を PC サーバ PRIMERGY TX300 S4 の CD-ROM ドライブへセットしますと、自動的にメニュー画面が表示され、メニュー内 “Install UBox Software” をクリックする事でインストールを行う事が出来ます。

CD-ROM 内の Launch.exe を実行する事でも、インストール可能です。

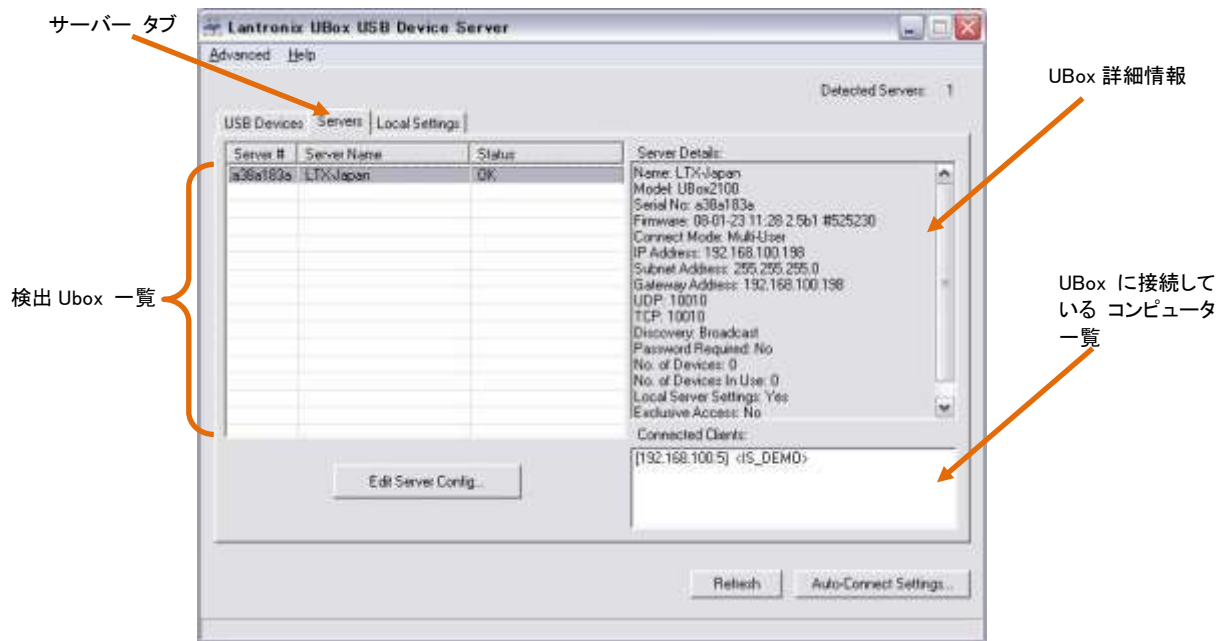


インストールが完了しますと、OS のリブートを行います。

7-5. UBox デバイスサーバー ソフトウェアの操作

OS 再起動が行われますと、タスクトレイに  アイコンが現れますので、このアイコンをダブルクリックするか、“メニュー”⇒“Lantronix UBox USB Device Server” から “UBox USB Device Server” のメニューをクリックするかして、UBox2100 を監視制御する Ubox USB Device Server プログラムを起動します。

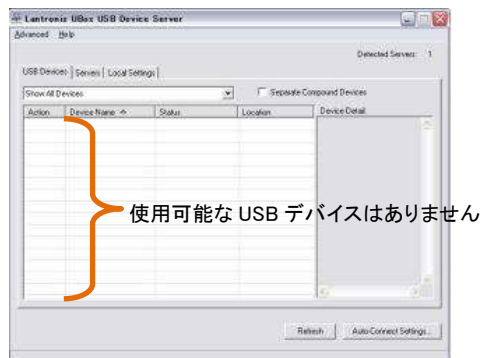
次のイメージは、起動直後、Servers タブ内で同一セグメント内に接続されている UBox を検出している事が確認できる画面です。



この時点で、デバイスマネージャーを確認しますと、UBox USB Device Servers のデバイスを確認する事が出来ます。



尚、UBox2100 には、USB デバイスを接続しておりませんので、USB Devices タブのリスト表示欄には、使用可能な USB デバイスの表示は行われません。

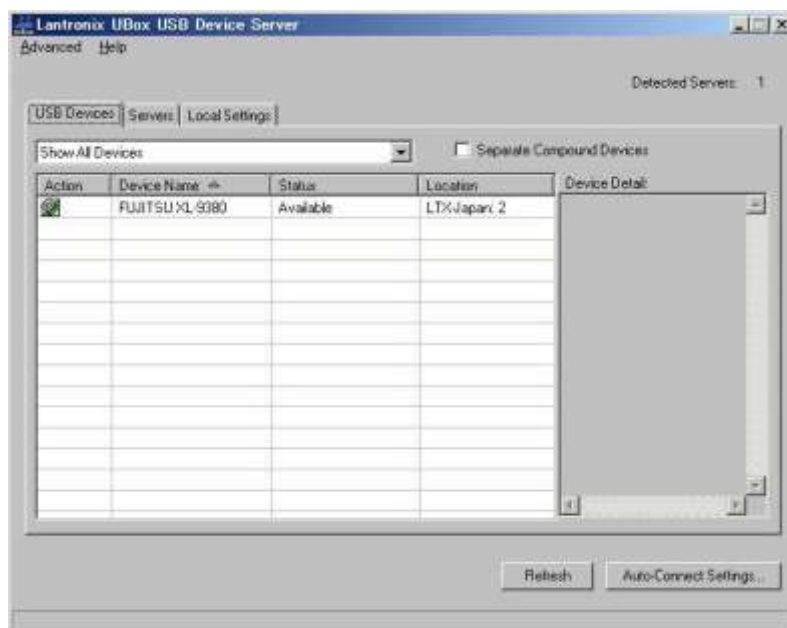


7-6. USB デバイスの接続

この度の接続検証においては、富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380)を使用しますので、UBox2100 の USB ポートと、XL-9380 との USB ポートとを、USB ケーブルを使用して接続します。次に、XL-9380 の電源を ON します。

システムでプリンターが認識されますと、プリンタードライバーのインストール要求が行われますので、添付 CD-ROM を使用して、プリンターのドライバーをインストールします。

結果として、ドライバーインストールが完了しますと、“Lantronix UBox USB Device Server”の画面が次のように変化します。



手動で、デバイスを接続するには、アイコンを、デバイスを切断するには、アイコンをクリックします。

自動で接続・切断を行う時には、“AutoConnectSettings...” ボタンをクリックして設定を行います。

8. 検証結果

8-1. 電源 OFF/ON 後の再接続の確認

設定後、全ての接続機器を一度、電源を OFF し、ON した後に、再接続が行われる事を確認しました。

次に、UBox2100 経由で、XL-9380 への印刷操作が通常通り行われる事を確認しました。

8-2. UBox2100 電源 OFF/ON 後の再接続の確認

全接続機器が通電状態の時に、UBox2100 単体の電源 OFF/ON を行い、問題なく、UBox2100 が OS で認識される事を確認しました。

次に、UBox2100 経由で、XL-9380 への印刷操作が通常通り行われる事を確認しました。

8-3. USB 機器の手動接続と自動接続の確認

“Lantronix UBox USB Device Server”の画面から、手動接続と自動接続の接続試験を行いました。

手動接続設定においては、意図した通りに接続が出来、XL-9380 への印刷操作が通常通り行われる事を確認しました。

自動接続設定においても、XL-9380 への印刷操作が通常通り行われる事を確認しました。

9. 【制限事項】

動作確認が取れている組み合わせは、今回検証した PC サーバ PRIMERGY (プライマジー) TX300 S4 + 小型デバイスサーバー(UBox2100) + 富士通製 USB プリンタ (Printia LASER XL-9380) となります。これ以外の組み合わせにつきましては動作保障いたしかねますが、まずは下記連絡先にお問い合わせ下さい。

お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部 (担当: 浅利)

TEL: 03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

以上